

絶食条件がシマアジの群行動に及ぼす影響

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小金, 隆之, 塩澤, 聡, 塚本, 勝巳, 水田, 洋之介 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014408

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



絶食条件がシマアジの群行動に及ぼす影響

小金隆之・塩澤 聡・塚本勝巳・水田洋之介

飢餓条件がシマアジの行動に及ぼす影響を調べるため、給餌区と無給餌区のシマアジ人工種苗の行動を比較観察した。無給餌区は給餌区に比べ群がり状態が少なく、分散状態が多くみられた。また、無給餌区の群面積は飢餓に伴って増大し、分布水深は上昇した。さらに移動速度は大きくなり、摂餌に関連した水面反転行動も多くみられた。こうした変化は特に、餌止め後6日目以降顕著となった。以上のことからシマアジの飼付け放流において飢餓は重要な逸散要因であることが示され、1週間以上の飢餓状態は避けるべきであることが示唆された。

栽培技研, 22(1), 39-47, 1993